

事務事業名	真岡市道路愛護会支援事業				担当	建設部 建設課 管理係		
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			増補版施策名			
施策名	4	道路ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和59年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠								
予算科目	1.一般会計	8.土木費	1土木管理費	1土木総務費				
事業概要	市は、地域の道路が快適な空間であるよう期し、また道路愛護意識を普及させることを目的に、真岡市道路愛護会が行う活動を支援している。 活動内容は、道路ふれあい月間（8月）における道路愛護活動や道路の正しい利用の啓発推進、花いっぱい運動、市内一斉清掃等。 真岡市自治会連合会の理事が道路愛護会の役員となり、自治会連合会会長が会長を務めている。 事務局は真岡市建設課に置いている。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 会計事務及び各種申請事務等と総会の開催。 31年度計画 平成30年度と同様		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 会議開催回数	回	1	1	1	1	1
		イ 市交付金額	円	0	40,000	40,000	40,000	45,000
		ウ						
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：市民	人	80,590	79,422	79,542	79,414	79,324
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 道路愛護活動を促進する。 道路愛護意識を高める。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：道路清掃活動に参加している区の割合	%	100	100	100	100	100
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 快適な道路環境を維持する。		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：道路の整備状況が良いと感じている市民の割合	%	65.3	61.3	63.9	62.5	62.3
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	40	40	40	
	事業費計(A)	千円	0	40	40	40		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	
		人件費計(B)	千円	168	166	166	167	
トータルコスト(A)+(B)		千円	168	206	206	207		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和59年に栃木県道路愛護連合会が発足したことをきっかけに開始された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成24年度に栃木県道路愛護連合会と栃木県河川愛護連合会が統合し、栃木県道路河川愛護会連合会が発足した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	道路愛護会や愛護活動参加者からは、特に要望等は寄せられていない。